

まちのわだい

4町それぞれの歴史を閉じる

〜万感胸に各町で閉町式〜

48年の歴史に幕

■和天山閉町記念式典

朝来市誕生に伴い、今日まで町の発展に寄与した皆さんへの感謝と、新市の飛躍を願い、和天山町は三月五日、ジュピターホールで閉町記念式典を挙行了しました。

式には、関係者や町民の皆さんなど約六百人が出席。はじめに、高本勤町長が、「和天山の歴史やまちづくりのノウハウを新市に引き継ぐとともに、市民一丸となって新しいまちづくりに取り組んでいきましよう。」と式辞を述べました。

続く表彰式では、町初の名誉町民賞を三人に贈呈。さらに、自治や教育、福祉などの分野で町の発展に多大の貢献をされた上野強さん（栄町）、岡田和隆さん（和天山本町）、小出信篤さん（和天山京口）、清水隆城さん（久田和）、西田潤子さん（枚田岡）、濱野晶平さん（和天山駅前）、前田徳水さん（西土田）の七人には町功労章を、さまざまな分野で功績のあった八十五人、六十五団体へは感謝状と表彰状を贈りました。

また、最後に「輝ける未来に向かって」と題して、和天山中学校生

51年間の歴史をしのぶ

■山東町閉町記念式典

三月六日、山東町町民ホールで、山東町閉町記念式典が、関係者や住民の皆さん約百五十人の出席のもと、盛大に開催されました。

式典では、水谷岩雄町長が、「町民の皆様には、今まで緑風の郷づくりに注いできた熱い心をそのまま新市へ引き継いでいただき、新しい地方分権時代に生きる朝来市の実現に向けて、一路邁進していきましよう。」と式辞。最後に、水谷町長、梶原議長によって町旗が降納され、藤井区長会長の発声による万歳三唱を全員で唱和し、ふるさと山東町への尽きない思いと朝来市の発展に願いを込め、式典を締めくくりました。



長い間、ありがとうございました

116年の歴史

「誇るべき歴史、新しき時代へ」



式辞を述べる桐山徹郎町長

■生野町閉町式

百十六年の長い歴史の幕を閉じる「生野町」の閉町式が三月十二日、町民会館メインホールで約三百人の皆さんが出席するなか行われました。

式典は町の歴史を振り返る映像で始まり、桐山徹郎町長が「生野町としての長い歩みを終えるにあたって、その誇るべき歴史を今一度振り返りながら、深い感謝と大いなる自信をもって新しい時代へとつなげていかななくてはなりません。」とあいさつしました。そして、会場のみなさんが見守るなか、桐山町長と小路議長が町旗を降納し、全員の万歳で式典を締めくくりました。

つなごう 朝来の心

■朝来町閉町記念式典

三月十三日の朝来町閉町記念式典には、関係者や住民の皆さん約三百人が出席しました。

最初に、朝来の町を築いてこられた物故者に黙とうがささげられ、続いて、井上英俊町長が「この地に生きる一人ひとりが永遠の財産。いつまでもふるさとを愛し、大切に思い、心と力を合わせて新市へまちづくりを進めていこう。」とあいさつ。映像で五十一年の朝来の歴史を振り返り、町内のコーラスグループの皆さんの先導のもと町民歌を歌いました。

最後は、会場全員で「いい日旅立ち」を歌い、朝来市としての新しい郷土の発展を誓いました。



▲将来を担う子どもたちによって町旗を降納。会場は一抹のさみしさに包まれました

地域の行事や身近なできごとなど何か明るい話題がございましたらお気軽に広報課までご連絡ください